

大垣市第2次教育振興基本計画 分野別振興計画（図書館活用分野） 実績と課題

基本目標 1 読書活動を推進し、夢に向かって挑戦し努力する人づくりをめざします

1 これまで（前期計画期間）の取り組み

取り組み	旧計画における該当箇所
令和4年度から、文学講座について、大垣を舞台とした文学作品や、児童文学作品を題材とした内容に見直した。	基本施策(1) 図書館における読書活動の推進
令和3年度に、郷土の絵本作家 市川里美を紹介する展示物を作成し、小中学校で市川里美展を開催した。	基本施策(2) 子どもの感性や人間性を育む読書活動の支援
令和元年度から、小学校の図書館まつりに協力し、学校における読書活動を支援した。また、墨俣小学校においては、図書館との連携も評価され、令和4年度子供の読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰を受賞した。	基本施策(2) 子どもの感性や人間性を育む読書活動の支援

2 課題と取り組みの方向性

課題	新計画における該当箇所
	取り組みの方向性
アンケートでは、「本や雑誌をほとんど読まない」人の割合が 46.7% と、前回調査（令和元年 42.7%）より 4%増加している。 不読率を低減させるには、子どもの頃からの読書習慣の定着が重要であるため、乳幼児期からの読み聞かせや、親子で親しめる講座、体験活動等の取り組みを推進する必要がある。	基本施策(2) ※基本施策名変更 乳幼児期からの読書活動の推進 図書館での定期的な読み聞かせや、講座・体験イベント等の開催、年齢に応じた図書の案内・展示を実施する。

課題	新計画における該当箇所
	取り組みの方向性
国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（令和５年３月）」に「学校図書館等との連携・協力」が位置付けられた。	基本施策(3) ※新設 学校・園等と連携した読書活動の推進
	基本施策の取組に「学校・園等と連携した読書活動の推進」を追加し、新たに図書館職員の学校訪問を計画に位置付けることで、学校との連携強化を図る。
アンケートでは、図書館を「ほとんど利用しない」人の割合が、83.3%となっており、読書活動の推進を広く市民にPRするためには、集客施設など図書館以外の場所での展示や体験活動、読み聞かせ等の取り組みが必要である。	基本施策(4) 地域における読書活動の推進 商業施設などの集客施設やイベント会場等において、図書の展示や体験事業、読み聞かせ等を行い、身近な場所で読書活動の推進に努める。

基本目標 2 図書館サービスを充実し、多様化する社会を心豊かに生きる人づくりをめざします

1 これまで（前期計画期間）の取り組み

取り組み	旧計画における該当箇所
令和2年度から、利用者のパソコンやスマートフォンで読書記録ができるサービス（読書メーター）を民間企業と連携して開始し、読書記録の推進を図った。 令和3年度から、スマートフォンによる図書の貸出しサービスを開始し、ICTを活用した効率的な貸出を実施した。	基本施策(1) 多様なサービスの推進
令和4年度から、「郷土資料室便り」を年4回発行しているほか、令和3年度からFacebookを、令和4年度からInstagramを開始し、積極的な情報発信に努めた。	基本施策(2) 積極的な情報発信
令和3年度から、電子絵本の閲覧を開始し、電子書籍の充実を図った。	基本施策(3) デジタル資料・情報の充実
令和4年度から、大垣駅北市民サービスセンターに、令和6年度から、南部サービスセンターに図書返却ポストを設置し、サービス拠点の充実を図った。	基本施策(4) サービス拠点の充実

2 課題と取り組みの方向性

課題	新計画における該当箇所
	取り組みの方向性
図書館アンケートの結果では、身近な場所で図書館サービスを求める声が多い一方で、市民サービスセンター（2か所）の図書返却ポストや地域文庫など、地域で行っている図書館サービスの認知率は低い。市民が図書館の情報を知る媒体は、図書館ホームページや「広報おおがき」が多いため、これらの媒体を活用した図書	基本施策(2) 積極的な情報発信 広報紙に加え、図書館ホームページやSNSなどの多様なメディアを活用し、図書館における講座やイベント、各種サービスの周知強化に努める。

課題	新計画における該当箇所
	取り組みの方向性
館のサービスなどの情報発信を積極的に行う必要がある。	

基本目標3 郷土資料の活用を推進し、郷土愛のある人づくりをめざします

1 これまで（前期計画期間）の取り組み

取り組み	旧計画における該当箇所
令和2年度から、古地図や古写真資料を対象に資料のデジタル化を行い、大垣市図書館ホームページ内のデジタルライブラリーの収録点数を増やし、貴重資料の積極的な公開を行った。	基本施策(1) 郷土資料の収集・整備 基本施策(2) 郷土資料の公開・活用
令和2年度から、1点しかない古地図資料のレプリカ（複製）を作成し、歴史講座での活用や上石津図書館・墨俣図書館で展示することにより、郷土資料の活用を図った。	基本施策(2) 郷土資料の公開・活用
令和4年度から、歴史講座（古文書講座ほか）を、会場とオンラインのハイブリッドで開催することにより、来場できない利用者へも講座参加の機会を提供した。	基本施策(3) 郷土を学ぶ機会の提供

2 課題と取り組みの方向性

課題	新計画における該当箇所
	取り組みの方向性
古文書講座は、初心者でも理解できる講座の開設が求められている。また、小中学生にも郷土の歴史などを学ぶ機会が必要である。	基本施策(3) 郷土を学ぶ機会の提供
	小中学生から大人まで、初心者から上級者までの幅広い層が受講できるよう、新たな講座を開催する。 （例：古文書入門講座、子ども向け歴史教室など）

基本目標 4 魅力ある資料や情報を提供し、かがやき続ける人づくりをめざします

1 これまで（前期計画期間）の取り組み

取り組み	旧計画における該当箇所
毎年度、図書館アンケートの実施や図書館協議会を開催し、図書館運営に関する市民の意見聴取に努め、サービスの向上に努めた。	基本施策(3) 市民と共に行う図書館運営
令和3年度に受変電設備取替工事、令和5年度にエレベーター改修工事を実施し、計画的な施設改修を実施した。令和2年度にデジタルサイネージの導入、令和3年度に図書除菌ボックスやサーキュレーター等を設置し、施設の充実を図った。	基本施策(4) 施設・設備の整備

2 課題と取り組みの方向性

課題	新計画における該当箇所
	取り組みの方向性
視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(読書バリアフリー法)の施行(令和元年6月)にともない、図書館においてアクセシブルな書籍等(※)の充実が求められている。 ※点字図書、拡大図書等	基本施策(1) 魅力ある資料の収集・充実
	一層のアクセシブルな書籍等の収集に努める。
社会の様々な変化にともない、暮らしに身近な話題を学びたいと考えている人が増加しているが、学ぶ機会と図書館資料を結び付けた事業等は十分実施できていない。	基本施策(2) ※新設 自主的・自発的な学びの場の提供
	基本施策の取組に「自主的・自発的な学びの場の提供」を追加し、人生に役立つ内容の講座等を開設する。

課題	新計画における該当箇所
	取り組みの方向性
社会課題や様々な施策の啓発の場として、図書館を活用した庁内各所属（関係機関含む）等との協働による展示の機会が求められている。	基本施策(5) ※新設 関係機関等との連携 基本施策の取組に「関係機関等との連携」を追加し、庁内の各所属や関係機関と連携したテーマ展示や関連図書のコーナーを設置する。
大垣市立図書館・上石津図書館の老朽化に伴い、引き続き、計画的な施設・設備の修繕を進める必要がある。	基本施策(6) 施設・設備の整備 計画的な施設・設備の整備・改修・更新等を行う。